

# いしかわ動物園 オーストラリアの平原

平成11年に開園した「いしかわ動物園」は、令和2年に20周年を迎えた。これまで、「トキ里山館」の公開やホワイトタイガーなどの希少な動物の導入など魅カアップを図っており、今回は、オーストラリアの平原で来園者自身が展示エリア内に立ち入ることができる「ウォークインゾーン」を新たに設け、カンガルーを間近に観察することができるよう整備を行った。



屋外観覧舎(テラス)



エミュ舎

(屋外観覧舎テラス)

展示エリア内に雨天時も屋外でカンガルーを観察できるよう、屋根付きのテラスを整備した。また、テラスの軒下には床暖房設備を設け寒い日はカンガルーが寝転び、間近で観察・ふれあうことができる工夫をしている。

(エミュ舎)

カンガルーが増えたことにより不足するエミュの寝小屋を確保するため、新たにエミュ舎を展示エリアの一部に整備した。

(既存展示エリア改修)

観察しやすいよう池・岩・樹木を撤去、敷地を平にしカンガルーが動きやすくなるよう整備し、また、来園者が展示エリアに入り間近で観察できるようウォークインゾーンを整備、さらに、パーゴラを設置することで夏場に日陰をつくり、カンガルーが集まるよう工夫をしている。

(既存観覧舎改修)

ガラスを網入りガラスから透明強化ガラスに変更し、視認性の向上を図った。



県産材の使用  
(屋外観覧舎)  
鉄骨柱周囲の化粧板に  
県産杉材を採用  
(エミュ舎)  
土台に能登ヒバ、柱・外  
壁などに杉材を使用

## DATA

④文化体育施設  
能美市徳山町地内  
令和元年12月～令和2年3月  
(屋外観覧舎)  
鉄骨造・平屋建て・29.91㎡  
(エミュ舎)  
木造・平屋建て・24.84㎡  
※展示エリア 771.88㎡